

平成22年度 まちの家計簿

地方自治法第243条の3第1項、俱知安町の財政事情説明書の作成及び公表に関する条例に基づき、平成22年度1年間の町財政の決算を報告します。

けっさんほうこく 決算報告

ここで挙げた数字は、一般会計、特別会計と水道事業会計の22年度決算額です。一般、特別、水道事業会計の決算額は、監査委員による関係書類の審査を経て町議会に提出し、9月定例町議会で、審議・認定されました。

併せて、23年度予算の上半期(4-9月)の執行状況、町人事行政の運営などの状況もお知らせします。

平成22年度決算額総括表

会 計 名	歳 入	歳 出	次年度への繰り越し	実 質 収 支
一 般 会 計	79億9736万円	76億5488万円	1333万円	3億2915万円
特 別 会 計	15億2377万円	16億9086万円		△1億6709万円
国民健康保険	6億1265万円	7億8210万円		△1億6945万円
老人保健	170万円	170万円		0円
後期高齢者医療	1億3460万円	1億3403万円		57万円
介護保険	373万円	373万円		0円
公共下水道	7億5300万円	7億5123万円		177万円
地方卸売市場	1412万円	1410万円		2万円
公共用地先行取得	397万円	397万円		0円
全 会 計	95億2113万円	93億4574万円	1333万円	1億6206万円

「国保事業財政健全化計画」を策定しました

国民健康保険事業は特別会計を設けて運営していますが、全国的に大変厳しい状況にあり、俱知安町においても平成19～22年度の累計不足額は1億6千9百万円となっております。この不足分を全て国保税で賄うことは、大幅な引き上げとなり、加入者の皆様にとって急激な負担増となってまいります。

このため、昨年「国保事業財政健全化計画」を策定し、一般会計から福祉的観点から一定基準のもと財政支援を受け、引き上げ率を抑えた税率の改定をしております。

※国保は他の医療保険に加入されていない方全てを加入者としています。このため「誰もが何れかの医療保険に加入し、安心して医療が受けることができる」我が国の国民皆保険制度の「最後の砦」といわれる医療保険で将来に渡り、安定的で持続可能な医療保険として維持していかなければならない制度です。

水道事業会計決算総括表

——収益的収支(水道水を各家庭に送るための費用)——

収入(消費税除く)		支出(消費税除く)	
区 分	決 算 額	区 分	決 算 額
水道料金	2億6312万円	人件費	6546万円
他会計負担金	2730万円	減価償却費	1億1082万円
その他収益	3639万円	維持管理費	3810万円
		支払利息	4514万円
		その他	3196万円
計(a)	3億2681万円	計(b)	2億9148万円

注)人件費は非常勤職員分除く

——資本的収支(施設の建設・改良のための費用)——

収入(消費税込み)		支出(消費税込み)	
区 分	決 算 額	区 分	決 算 額
工事負担金	210万円	建設改良費	9837万円
他会計負担金	476万円	企業債	5573万円
不足額(補てん財源)	1億4724万円	償還金	
計	1億5410万円	計	1億5410万円

経常利益(a-b) 3533万円

22年度の主な事業

①除排雪対策事業

車歩道の除排雪、流雪溝の管理、私道除排雪に対する補助などを実施しました。

※総事業費＝約3億100万円

②ごみ処理運営事業

一般ごみの受け入れ、収集、分別、再利用などを実施しました。※総事業費＝約2億8100万円

③町道新設改良修繕事業

各町道の修繕や歩道の造成などを実施しました。(西大通北線舗装工事、北7条東通歩道造成ほか)

※総事業費＝約1億44万円

④公営住宅整備事業

白樺団地建替工事＝1億8652万円

火災報知器設置工事＝296万円

ノースパーク駐車場整備工事＝327万円

むつみ団地地上デジ外対応工事＝402万円

⑤ふるさと雇用再生特別対策事業

アンテナショップ運営事業

ニセコ地域商品開発及びガイド育成事業

総事業費＝5433万円

⑥平成21年度からの繰越し事業

中学校耐震改修事業＝6億6738万円

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業＝8160万円